

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会保障論 I		必修 (福) 選択 (理.作)	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
樋川 隆	講師控室	kyoumu		授業終了後に対応	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 社会保障は、年金保険・医療保険・介護保険などの社会保険と、社会福祉、公的扶助の全てを含み、広義に捉えると教育、雇用、住宅問題も包含するものである。そこで、わが国の社会保障の枠組みの在り方、実施方法と体制等について講義を行い、社会保障に関する仕組みや内容についての基礎的な理解を目的とする。また、現代社会における社会保障をめぐる問題と課題も理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 授業は教科書を中心に同時双方向型授業でおこなう。</p>				
学習上の助言	教科書、関連資料を丁寧に読むことを重ねてください。 授業内容に関する質問は、授業中またはオフィスアワーで受付ける。				
教科書	社会保障 (新・社会福祉士養成講座 12) 編集：社会福祉士養成講座編集委員会 出版社：中央法規出版 随時資料プリントを配付する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	わが国の社会保障制度の歴史を理解し説明ができる。			HSU (2) (3) 社・精	
②	わが国の社会福祉制度を理解し説明ができる。			HSU (2) (3) 社・精	
③	わが国の保険制度を理解し説明ができる。			HSU (2) (3) 社・精	
④	わが国の年金制度を理解し説明ができる。			HSU (2) (3) 社・精	
⑤	わが国の社会保障制度の課題を理解し説明ができる。			HSU (2) (3) 社・精	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、社会保障の概念を学習する。	同時双方向型授業	教科書を読む。		4
2	社会保障制度審議会勧告 (1950 年) を学習する。	同時双方向型授業	勧告の要点をまとめる。		4
3	イギリスの社会保障の歴史を学習する。	同時双方向型授業	ベバリッジ報告をまとめる。		4
4	日本の社会保障の歴史を学習する。	同時双方向型授業	日本の社会保障をまとめる。		4
5	社会保障をめぐる重要判例を学習する。	同時双方向型授業	朝日訴訟資料を再読する。		4
6	社会福祉基礎構造改革を学習する。	同時双方向型授業	基礎構造改革をまとめる。		4
7	社会保障の財源を学習する。	同時双方向型授業	国、地方公共団体の予算構成を調べまとめる。		4
8	年金保険制度の概要①国民年金制度を学習する。	同時双方向型授業	国民年金制度をまとめる。		4
9	年金保険制度の概要②厚生年金制度、社会保障と税の一関係を学習する。	同時双方向型授業	厚生年金制度をまとめる。		4
10	年金制度の概要③障害基礎年金、遺族基礎年金等を学ぶ。	同時双方向型授業	障害基礎年金等をまとめる。		4
11	医療保険制度の概要を学習する。	同時双方向型授業	医療保険制度をまとめる。		4
12	国民健康保険、高齢者医療制度を学習する。	同時双方向型授業	国民健康保険制度をまとめる。		4
13	雇用保険制度、介護保険制度を学習する。	同時双方向型授業	雇用保険制度、介護保険制度をまとめる。		4
14	介護保険制度を学習する。	同時双方向型授業	介護保険制度をまとめる。		4
15	社会福祉制度の概要を学習する。	同時双方向型授業	社会福祉制度をまとめる。		4
試	定期試験				

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		90	0	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	5	0	0	0	5	10
	問題を発見・解決する力	5	0	0	0	0	5
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験で評価を行う。 試験では行動目標に関する✓基本的な知識を中心に確認する。				試験の評価と解説を行う。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業での課題の討論参加状況等について評価を行う。 自分の意見をもって積極的に参加すること。				課題についての考え方を解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の wifi 環境を推奨する。          今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。          社会保障は、すべての国民の権利であることから、自分の生活に密接なものとして学習に取り組んでもらいたい。また、要          支援者に対しては、十分な時間をかけて多面的な制度と多分野の専門家との関わりが必要であることを理解し、自己の専門分野          以外の専門家との関係を大切にする臨床家になる努力をして欲しい。          授業中の討論には積極的に参加し理解を深めてほしい。          教科書を中心に授業を行うため、毎週の授業の該当箇所を熟読して欲しい。</p> <p><b>教員の実務経験：</b>山梨県庁社会福祉専門職として社会福祉行政一般、生活保護行政、児童福祉行政、障害福祉行政の実務経験。  <b>実践的授業の内容：</b></p>							